

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和2年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館(アスカル幸手)
施設所管課	教育部教育委員会 社会教育課（内線644）
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（2年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	4	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	4	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	4
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	4	3
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲサービスの安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点／満点)	83 100	78 100

総括	指定管理者の自己評価	令和2度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い休館措置のため、4月1日から5月31日まで休館し、6月1日からの運営となりました。施設運営の再開後も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通じて人数制限や時短営業等の利用制限を実施しての運営となりましたので、利用件数は32,155件で対前年差で54,679件の減少(-63%)となりました。利用者数は84,209人で対前年差160,991人の減少(-66%)となりました。 全体の収支については、24,142,564円のマイナスとなりました。利用料金は14,354,630円で対前年差20,983,870円の減少となりました。 令和2年度の運営は新型コロナウイルスの感染者を施設から出さないという方針のもと、全スタッフ一丸となって、館内のアルコール消毒の徹底や換気、名簿のチェック、自主事業参加者への健康チェック等について徹底して取り組み、利用者の方が安心・安全に施設を利用できる環境づくりに努めました。 また運営再開後、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で速やかに教室事業を実施し、コロナ禍で塞ぎ込みがちな市民の方々へ事業を通じ地域との繋がりがや気分転換等の健康増進への一定の寄与を果たせたと考えます。 令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に努め安心・安全に施設を利用できるように努めると共に収支の回復に向けて取り組んでまいります。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設管理においては、計画的に保守点検を実施し、必要に応じ適切に修繕を行っていた。経年劣化による施設の破損についても都度必要な対応をとり、速やかに状況を報告していた。また、休館期間中には、施設の補修や備品のチェック、剪定など可能なものをスタッフで実施するなど、施設再開に向けて利用者に快適に使用していただきたいという配慮を感じることができた。また、施設の利用方法や、安全な利用に向けての情報収集を独自に行い、周辺自治体の取組や施設の状況を報告するなど、当課に対してもこまめな連絡を行っていた。 利用状況については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から施設を休館したこと、利用の制限による影響が大きく、前年比でマイナスとなっている。そういった状況の中でも利用者に安心して利用いただけるよう、こまめな清掃・消毒や、各種備品の整備などを積極的に行っており、利用者のアンケートからも取組が評価されていることがうかがえる。 自主事業の計画や実施が困難な中、自粛生活で運動不足になっている社会状況を憂慮して、家でできるトレーニング動画をホームページにアップするなど、独自の取組を行っていた点は評価したい。

総合評価	区分	S
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)